

ナルニアについて知りえなかった40のこと

- \* もともとの子どもたちの名前はアン、マーチン、ローズ、そしてピーターである。
- \* 一番最初の「ライオンと魔女」の草稿は1949年に完成した。
- \* 「ライオンと魔女」の最初の草稿にはアスランのことは書かれていなかった。
- \* 「ジャディス」という言葉はペルシャ語で魔女という意味。
- \* 「アスラン」はトルコ語でライオンを指す。
- \* 「Cair Paravel」は下級裁判所という意味。(古い英語: caer は court (裁判所) という意味、paravail は「小さい方の」或いは「~の配下に」という意味。言い換えると、ナルニアの王はアスランの配下にいるという意味である。

- \* 「馬と少年」は「銀のいす」より先に完成したが、あとで出版された。

C.S.ルイスはアメリカ大統領のジョン・F・ケネディと同じ日に亡くなった。

第2次世界大戦中、4人の子供がキルنزというルイスの家に住んでいた。

「さいごの戦い」は「魔術師のおい」より前に完成したが、出版されたのは、あとだった。

C.S.ルイスは次の順番で本を書き始めた: LWW,PC,VDT,HHB,SC,MN,LB

LWW:ライオンと魔女

PC:カスピアン王子のつのぶえ

VDT:朝びらき丸東の海へ

HHB:馬と少年

SC:銀のいす

MN:魔術師のおい

LB:さいごの戦い

C.S.ルイスは次の順番で本を完成した: LWWW,PC,VDT,SC,HHB,SC,LB,MN

本はもともとは次の順番で出版された: LWW,PC,VDT,SC,HHB,MN,LB

本は最近年代順に並べ替えられた: MN,LWW,HHB,PC,VDT,SC,LB

雪の森の中に住み、小包みとカサを持つフォーン(半人半ヤギ)のイメージは、ルイスが16才の時に思いついた。

「さいごの戦い」は児童文学の最高峰であるカーネギー賞を受賞した。

ポーリーン・ベインズはナルニア年代記のためにおよそ350ものさし絵を描いた。

ポーリーン・ベインズは1998年にそれぞれのさし絵に色を加えた。

年代記のうち6つが映画化され、すべてはテレビドラマ化された: 1979年にアニメ化された「ライオンと魔女」ドラマ化された「ライオンと魔女」「カスピアン王子とつのぶえと朝びらき丸東の海へ」(この2つは1本の映画になった) 1980年代の「銀のいす」(BBCで放送)とあんまり知られていないが、1968年にイギリスのITVテレビで白黒放送された「ライオンと魔女」がある。

ルイスは「銀のいす」をタイトルとして決める前に以下のようなタイトルを考えた：「荒れ果てた土地」「ナルニア国の夜」「ナルニア国の小人」「ナルニア国の知らせ」

パドルグラムはルイスの庭師であるフレッド・パックスフォードがモデルとなっている。

ロジャー・ランスリン・グリーンが「ナルニア年代記」のネーミングについて提案した。

ルイスの考えるところによると、302年にテルマに住んでいたカロメンスは邪悪な行動を取ったため、アスランは彼らをおしの獣（これらの住人は人間なのかことばを話す獣なのかは依然として論議的である）に変えてしまった。

ルイスの記述する年代から判断すると「魔術師のおい」に書かれている年代と合致しない部分がある。その年代によるとアーチェンランドはフランク5世の一番下の息子であるコルによって180年に作られたことになっているが、「魔術師のおい」では、フランク1世の2番目の息子がアーチェンランドの王となっている。

アスランの復活より以前に「ナルニア国に話すねずみ」がいたとは考えられないが、ポーリン・ベインズが「魔術師のおい」の中で描くフランクとヘレンの即位式のイラストにはねずみのような動物が2匹出てくる。

トルコ語で「石のライオン」という意味の“Arslan Tash”は、リリス（白い魔女の祖先）の伝説について考古学上の研究を進める場所として知られている。

ローン島は、ナルニア国のゲイル王が竜から島々を救った302年にナルニア国の属国となった。

ルイスのまま息子であるダグラス・グレスハムは、ナルニア料理本の読者に「ナルニア国に話すブタ」（レシピにポークが含まれているので）はいないが、「魔術師のおい」の中に「話す雄ブタ」がいることを述べている。

「馬と少年」の中に出てくる巨人ピアは407年（ルイスの年代による）にアーチェランドのオルビンによって殺された。

ナルニアはイタリアの町の名で、現在ナルニと呼ばれている。

「さいごの戦い」だけがだれにもささげられていない唯一の書物である。

ルーシーは世界のどの子供よりも長くナルニア国にとどまり、エドモンドよりも4時間長くナルニア国にとどまった。

1998年、イギリスは「魔術の世界」という名前の切手シリーズを発行した。クリスティによると、「ライオンと魔女」をもとにした切手が含まれているということである。

1980年代に5つの「アドベンチャーを選ぼう」というゲームブックスタイルの本が出版され、これらは年代記に基づいて作られたものである。これらはナルニアソロゲームと呼ばれ、「魔術師とまじない」「帰ってきた白い魔女」「死んだ水に帰る」「Cair Paravelの失われた道化」そして「跳ねるライオン」とタイトルがつけられた。

ナルニアソロゲームはそのあと2つ加えられる計画であったが、実現しなかった。(著作権の問題と思われる)ゲームのタイトルとして「魔術師の指輪」と「夢の石を持つ者」が考えられていた。

ミラズとカスピアンと古いナルニア人との戦いは、救いの戦いと呼ばれた。

テルマリン人となる海賊は1933年と1940年の間に、この世界を去ったが、当時、南の海では海賊はまだ出没していた。彼らはナルニアのテルマに460年にたどり着いた。

4つのゲームは年代記に基づいて作られた。それぞれLWW,PC,VDTのために作られ、もうひとつは「ナルニア」というタイトルでBBC映画に基づいて作られたものである。

年代記については3つのビデオが作られたが、現在はコモドアやアップル2のように古くなってしまい販売されていない。それらはLWW,VDT,そして「ナルニア」と呼ばれるものである。

ルイスの友人であるJ.R.R.トルキンは「ライオンと魔女」について厳しく批判したため、ルイスは完成に至ることができなかった。

